



大漁を占う二船祭り

国崎町で11月23日、海女潜女神社の祭礼「二船祭り」が行われ、同町海間谷地区と里谷地区の男衆が5人ずつ手漕ぎ船に乗り込み、2隻で速さを競いました。里谷が勝てばボラ、海間谷が勝てばイワシが大漁になるとされており、地元住民ら約150人が見守る中、里谷地区が熱戦を制しました。

今年は同町と交流のある皇學館大学の学生4人も漕ぎ手として参加し、愛知県出身で4年生の阿谷勇さん(22)は「それぞれの地方に伝統行事があり、参加して初めておもしろさや伝統を学ぶことができる。よい経験になりました」と語ってくれました。



鳥羽出逢い応援事業で出会った二人が結婚

市が実施する「海辺のまち鳥羽出逢い応援事業」で出会った井村俊之さんと文子さん夫妻が11月12日、市役所を訪れ、木田市長に結婚の報告をしました。

二人は平成23年10月に行われた出逢い応援事業に参加して出会い、2年間交際を続けてこられました。その間文子さんは、俊之さんのワカメ養殖を手伝うために答志島を訪れ、二人の仲が深まっていったそうです。「気が付けばずっとお互い隣に座っていた」と出会った時のことをうれしそうに語ってくれました。



菅島小でサメのたれ作り

11月5日、菅島で小学生26人が特産品の「サメのたれ」作りを体験しました。

子どもたちに「サメのたれ」を作る工程を知ってもらい、食べてもらおうと鳥羽磯部漁協菅島支所の青壮年部が企画しました。サメをさばく様子の見学や漬け込み、干す工程などを体験した児童たちは、「美味しくなってほしい」などと話していました。



迷彩のヘリで防災訓練

11月20日、中央公園多目的グラウンドで陸上自衛隊のヘリコプターを使った防災訓練がありました。

ヘリが離発着するときに必要な広さやHマークの書きかた、ダウンウォッシュ(ヘリの吹き降ろしの風)などを体感し、最後に上空から鳥羽の地形を確認しました。参加者は「思っていたより揺れなく、気付いたら浮いていた」と驚いていました。